

仕 様 書

1. 件名

三次元空気ばね式除振台

2. 研究の概要

産業技術総合研究所分析計測標準研究部門では、日本学術振興会 (JSPS) 科研費 基盤研究 B「光受容タンパクの機能発現メカニズム解明に向けた高速 THz オペランド計測システム開発」の一環として、THz 光やレーザー等を活用した計測システムの開発研究を行っている。

3. 装置の概要

本装置は、光受容タンパクの機能発現挙動等の観察に向け、フェムト秒レーザーを用いて発生させた THz 光や白色光等を活用する計測システムを構築するための光学定盤である。

4. 装置の基本構成

4.1. 三次元空気ばね式除振台

5. 基本構成別仕様

5.1. 三次元空気ばね式除振台 (詳細は図 1 を参照すること。)

- (1) 除振台は 3000mm (D) × 1500mm (W) × 800mm (H) 以内の寸法であること。
- (2) 除振台上部の定盤はスチールハニカム構造であること。
- (3) 除振台上部の定盤は 3000mm (D) × 1500mm (W) × 350mm (H) 以内の寸法であること。
- (4) 定盤部の天板は端面 mm より 25mm ピッチで M6 ネジの加工がされていること。
- (5) 定盤部の天板は着磁性ステンレス SUS430 であること。
- (6) 定盤部の天板は厚み 5mm であること。
- (7) 定盤下面はスチール材であること。
- (8) 定盤下面は厚み 5mm 以内 (表面黒色塗装) であること。
- (9) 定盤側面にはレーザーシートが貼られてあること。
- (10) 定盤の側面 2 箇所 (接合部 A、B 参照) に接合部を有すること。
- (11) 接合部 A は 300mm 幅の一辺における片側 1500mm の区間であり、オスメスジョイント加工が施されていること。

- (12) 接合部 A で三次元空気ばね式除振台 I（日本防振工業株式会社製、型番：AS-3615TJS）と段差無く確実にジョイントできること。
- (13) 接合部 B は 1500mm 幅の一边における片側 1500mm の区間であり、オスジョイント加工が施されていること。
- (14) 接合部 B で三次元空気ばね式除振台 II（日本防振工業株式会社製、型番：AS-1815TJS）と段差無く確実にジョイントできること。

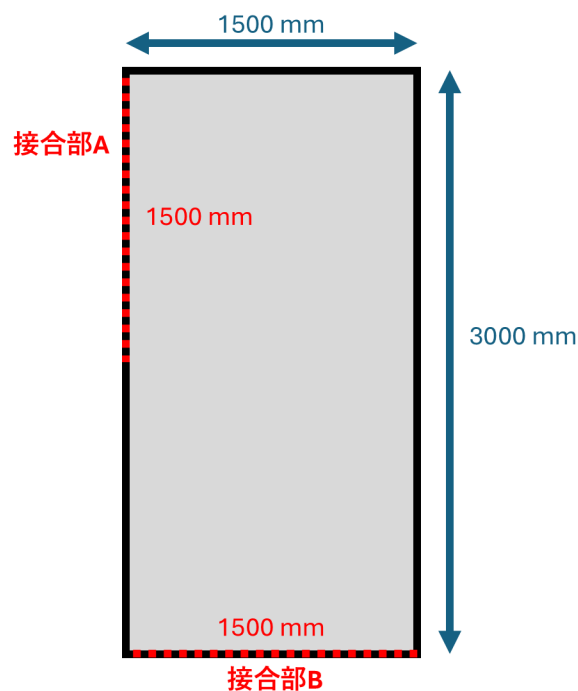


図 1： 三次元空気ばね式除振台のレイアウト

6. 特記事項

本装置の納入の際に、既に接続されている三次元空気ばね式除振台 I（日本防振工業株式会社製、型番：AS-3615TJS）と三次元空気ばね式除振台 II（日本防振工業株式会社製、型番：AS-1815TJS）を分解する作業と、本装置と三次元空気ばね式除振台 I（日本防振工業株式会社製、型番：AS-3615TJS）及び三次元空気ばね式除振台 II（日本防振工業株式会社製、型番：AS-1815TJS）を接続する作業を含むものとする。

7. 納品確認試験

本装置を搬入、据付、調整の後、調達請求者の立会いのもと、仕様書を満

たしていることを確認したうえで、装置が正常に作動することを確認する。

8. 納入物品

- (1) 三次元空気ばね式除振台 一式
- (2) 取扱説明書 1部（紙媒体または電子媒体）
- (3) 構成品一覧表 1部（紙媒体または電子媒体）

※電子媒体の場合、原則としてUSBメモリ等の外部電磁的記録媒体は用いないこと。

9. 納入の完了

本装置は、「8. 納入物品」に記載された納入物品が過不足なく納入され、仕様書を満たしていることを確認して、納入の完了とする。

10. 納入期限及び納入場所

納入期限：2026年1月30日

納入場所：茨城県つくば市梅園1-1-1

国立研究開発法人産業技術総合研究所 分析計測標準研究部門
つくばセンター 中央事業所2群 2-1B棟 01143室

11. 付帯事項

- (1) 納入時には、本装置の安全操作及び一般的な保守について説明を行うこと。
- (2) 納入された装置における能力内の使用中に発生した納入の完了後1年以内の故障については、その修理、調整等責任をもって無償で行うこと。
- (3) 本仕様書の技術的内容及び知り得た情報に関しては、守秘義務を負うものとする。
- (4) 本仕様書の技術的内容に関する質問等については、調達請求者と協議すること。また、本仕様書に定めのない事項及び疑義が生じた場合は、調達担当者と協議のうえ決定する。